

# 世界史

〔注 意 事 項〕

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子の中を見てはいけません。
2. 問題冊子は15ページ、解答用紙はマーク・シート1枚です。監督者の指示に従って確認してください。
3. 問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
4. マークは、マーク・シートに記載してある「記入上の注意」をよく読んだうえで、正しくマークしなさい。
5. 受験番号及び氏名は、マーク・シートの所定欄に正確に記入し、また受験番号欄の番号を正しくマークしなさい。
6. 監督者の指示があってから、マーク・シートの左上部にある「科目欄」に受験する科目名を記入しなさい。
7. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

# 世界史

(60分 100点)

I アフリカの歴史について述べた次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。  
(30点)

エジプトでは「ナイルのたまもの」という言葉通り、ナイル川流域の肥沃な土地を利用して農業が<sup>(1)</sup>行われ、早くからノモスと呼ばれる村落が形成されていた。前3000年ころ、エジプトでは王（ファラオ）による統一国家がつくられた。前27世紀からおこった古王国は、メンフィスを中心に栄え、クフ王らが巨大なピラミッドをつくった。前21世紀におこった中王国は中心を  に移したが、アジア系遊牧民の  の侵入を受けた。前16世紀には新王国がおこり、 を追放し、シリアにまで進出した。前14世紀、アメンホテプ4世は唯一神アトンの信仰を強制する宗教改革を断行した。この時代、自由で写実的なアマルナ美術がうみだされた。新王国が滅亡すると、エジプトは外国の勢力に支配された。ナイル川上流にたてられたクシュ王国は、現在知られる最も古い黒人王国である。前8世紀にエジプトを一時<sup>(2)</sup>支配したが、アッシリアの侵入で退いた。

7世紀ころに西アフリカにたてられたガーナ王国は、ムスリム商人を仲介として岩塩と金を交換する交易で繁栄した。11世紀にはムラービト朝の侵入により西アフリカのイスラーム化がうながされ、ガーナ王国滅亡後に西アフリカにたてられて、「黄金の国」といわれた  王国やソンガイ王国の支配階層は、積極的にイスラーム教を受容した。ソンガイ王国は交易で繁栄し、とくに<sup>(3)</sup>トンプクトゥは経済・文化の中心地として栄えた。一方、アフリカ東岸北部の海港では古くから海上交易が行われていたが、10世紀以降、モガディシュ以南の海港都市にムスリム商人が居留地を形成し、<sup>(4)</sup>海洋交易の拠点として繁栄した。これらの地域ではアラビア語の影響を受けたスワヒリ語が商業用語として普及した。 川の南の地域では、11世紀ころからモノモタパ王国などがたてられ、豊富な鉱産資源とインド洋貿易で繁栄した。

19世紀半ば以降、 やスタンリーのアフリカ内陸部の探検を契機とし

て、西欧列強はこの地域に関心を持つようになった。1884～85年のベルリン会議でベルギー国王の所有地として  自由国の設立が認められ、アフリカの植民地化原則が定められると、列強はこぞってアフリカに殺到した。こうして、20世紀初頭には、エチオピアとリベリアを除くアフリカ全土が列強の植民地とされた。<sup>(5)</sup><sup>(6)</sup> これらの植民地では、19世紀から抵抗運動がおこり、さまざまな抗議運動が行われた。

エジプトでは、1922年にエジプト王国が成立していたが、第二次世界大戦後の1952年には  らの指導する自由将校団が王制を倒し、翌年に共和国を樹立した。1956年に大統領となった  は、スエズ運河の国有化に成功した。北アフリカでは、1956年にモロッコとチュニジアが独立し、アルジェリアも激しい独立戦争をへて、1962年に独立を達成した。1957年には  が指導するガーナが自力で独立した最初の黒人共和国となったのをはじめ、1960年には一挙に17カ国が独立して「アフリカの年」と呼ばれた。1963年にエチオピアの首都アジスアベバで開かれたアフリカ諸国首脳会議では、 が結成された。

問1 文中の空欄  ～  に入る語句として適当なものを、次の①～④の中からそれぞれ1つずつ選びマークしなさい。  ～

- |                                |       |        |
|--------------------------------|-------|--------|
| <input type="text" value="1"/> | ① カイロ | ② シドン  |
|                                | ③ テーベ | ④ ティルス |

- |                                |        |         |
|--------------------------------|--------|---------|
| <input type="text" value="2"/> | ① ヒクソス | ② ヒッタイト |
|                                | ③ アッカド | ④ リディア  |

- |                                |        |       |
|--------------------------------|--------|-------|
| <input type="text" value="3"/> | ① アクスム | ② ダホメ |
|                                | ③ ベニン  | ④ マリ  |

- |                                |         |        |
|--------------------------------|---------|--------|
| <input type="text" value="4"/> | ① ザイール  | ② ザンベジ |
|                                | ③ ニジェール | ④ リンポポ |

- |   |             |            |
|---|-------------|------------|
| 5 | ① アムンゼン     | ② スコット     |
|   | ③ ピアリ       | ④ リヴィングストン |
|   |             |            |
| 6 | ① アンゴラ      | ② ケニア      |
|   | ③ コンゴ       | ④ ナイジェリア   |
|   |             |            |
| 7 | ① マンデラ      | ② サダト      |
|   | ③ ナセル       | ④ ペロン      |
|   |             |            |
| 8 | ① エンクルマ     | ② セク＝トゥーレ  |
|   | ③ ナギブ       | ④ ルムンバ     |
|   |             |            |
| 9 | ① パン＝アフリカ会議 | ② アフリカ統一機構 |
|   | ③ アフリカ民族会議  | ④ アフリカ連合   |

問2 文中の下線部(1)の言葉を残した人物を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 10

- |           |          |
|-----------|----------|
| ① エウリピデス  | ② ソフォクレス |
| ③ トゥキディデス | ④ ヘロドトス  |

問3 文中の下線部(2)についての説明として間違っているものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 11

- ① アフリカ内陸部やインド洋とエジプトを結ぶ交易中継地として栄えた。
- ② エジプト侵入時には、テル＝エル＝アマルナに都をおいた。
- ③ メロエに都をおいた時代には製鉄がさかんに行われた。
- ④ メロエ文字を用いていた。

問4 文中の下線部(3)についての説明として間違っているものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 12

- ① ムワッヒド朝の都であった。
- ② 11世紀以降、隊商交易の終点として繁栄した。
- ③ 16世紀に黒人による最初の大学が創設された。
- ④ サハラ砂漠の南縁に位置することから内陸交易の中心となった。

問5 文中の下線部(4)に関連して、アフリカ東岸の海港都市でないものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 13

- ① ザンジバル
- ② マラケシュ
- ③ マリンディ
- ④ モンバサ

問6 文中の下線部(5)についての説明として正しいものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 14

- ① アフリカ北東部のキリスト教国で一時分裂したが、19世紀に再統一された。
- ② アフリカ東岸にたてられたアフリカ最初の共和国である。
- ③ アメリカで解放された奴隷の居住地として建国された共和国である。
- ④ 南アフリカにアメリカの支援でつくられた共和国である。

問7 文中の下線部(6)に関連して、リビアを植民地にした国を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 15

- ① イギリス
- ② イタリア
- ③ ドイツ
- ④ フランス

Ⅱ 19世紀のヨーロッパについて述べた次の文章A～Cを読んで、以下の問いに答えなさい。(30点)

A 19世紀前半、ウィーン体制と呼ばれる保守的な国際秩序が形成されたが、フランス革命とナポレオン戦争を機にヨーロッパに広まった自由主義とナショナリズムによって、この体制に対する<sup>(1)</sup>さまざまな抵抗運動が展開された。

イギリスでは自由主義的改革が進み、1832年には選挙法が改正され選挙資格が拡大されたが、選挙権を獲得できなかった労働者は、1830年代後半から人民憲章をかかげてチャーティスト運動をおこした。また、自由貿易政策が<sup>(2)</sup>すすめられ、1834年には東インド会社の中国貿易独占権の廃止が<sup>(3)</sup>実施された。

フランスでは、国王の反動的な圧政に対して、1830年  がおこり、自由主義者の  が王にむかえられた。この革命の影響を受け、 がオランダから独立した。しかし  以降のフランスでは、一部の富裕層のみが優遇された。そのため中小資本家や労働者らの選挙法改正の要求が弾圧されたことをきっかけとして、1848年に二月革命がおこり、 は退位して共和政の臨時政府が樹立された。同年4月の男性普通選挙で、穏健共和派の政府が成立した。二月革命の影響はヨーロッパ全般におよび、オーストリアでは三月革命がおこって、メッテルニヒが失脚した。

問1 文中の空欄  ～  に入る語句として適当なものを、次の①～④の中からそれぞれ1つずつ選びマークしなさい。  ～

- |                                 |           |            |
|---------------------------------|-----------|------------|
| <input type="text" value="16"/> | ① 七月革命    | ② 十月革命     |
|                                 | ③ 名誉革命    | ④ 立憲革命     |
| <input type="text" value="17"/> | ① シャルル10世 | ② アンリ4世    |
|                                 | ③ ルイ18世   | ④ ルイ＝フィリップ |

18

① スウェーデン

② デンマーク

③ ノルウェー

④ ベルギー

問2 文中の下線部(1)に関連して、ヨーロッパの自由主義とナショナリズムの動きに影響を受けて、1829年にオスマン帝国から独立を果たした国を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

19

① ギリシア

② ハンガリー

③ ブルガリア

④ ルーマニア

問3 文中の下線部(2)のかかげた内容として間違っているものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

20

① 議員の財産資格廃止

② 腐敗選挙区の廃止

③ 議会の毎年改選

④ 無記名秘密投票

問4 文中の下線部(3)に関連して、イギリスで自由貿易政策としてとられた政策の組み合わせとして正しいものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

21

① 穀物法の廃止と航海法の廃止

② 穀物法の制定と航海法の廃止

③ 穀物法の廃止と航海法の制定

④ 穀物法の制定と航海法の制定

B 19世紀半ば、ロシアは  をおこしてオスマン帝国と戦ったが、諸外国の介入もあって敗北した。この戦争中に即位した皇帝アレクサンドル2世は、ロシアの後進性を痛感し、1861年に農奴解放令を発布するなどさまざまな国内改革に着手したが、ポーランドの反乱などを機に反動化し、1881年にテロリストによって暗殺された。

イギリスでは、19世紀半ばから保守党と自由党による二大政党政治が展開され、重要な改革が次々と実現された。1870年代には初等教育の公的整備が決まり、労働組合に法的な地位が認められ、1880年代には事実上の男性普通選挙制が実現された。

フランスでは、1852年に帝位についた<sup>(4)</sup>ナポレオン3世が積極的な対外政策を展開した。しかし、プロイセン＝フランス戦争に敗北すると帝政は崩壊し、臨時政府は1871年1月にドイツ軍に降伏した。講和に反対する社会主義者やパリの民衆はパリ＝コミューンを樹立したが、共和派の  らの政府軍によって鎮圧された。同年9月に  は大統領に就任し、1875年には共和国憲法が制定され、第三共和政が確立された。

問5 文中の空欄  ・  に入る語句として適当なものを、次の①～④の中からそれぞれ1つずつ選びマークしなさい。  ・

- ① エジプト＝トルコ戦争                      ② クリミア戦争  
③ 第1次バルカン戦争                      ④ 北方戦争

- ① ラマルティエヌ                      ② タレーラン  
③ ティエール                      ④ ルイ＝ブラン

問6 文中の下線部<sup>(4)</sup>に関連して、事実上の男性普通選挙を実現した第3回選挙法改正を行った内閣を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

- ① グレイ内閣                      ② ダービー内閣  
③ ディズレーリ内閣                      ④ グラッドストン内閣

問7 文中の下線部(5)に関連して、ナポレオン3世が展開した対外政策についての説明として正しいものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

25

- ① オーストリア・ロシアの連合軍をアウステルリッツで撃破した。
- ② オランダと連合してアロー戦争をおこした。
- ③ フランス領インドシナ連邦を成立させ、ラオスもそれに編入した。
- ④ メキシコに出兵したが、アメリカの抗議もあり失敗した。

C イタリアでは19世紀半ば、の王位についたヴィットーリオ＝エマヌエーレ2世のもと、統一運動が進められた。1859年にオーストリアと開戦したは、この戦いに勝利してロンバルディアを獲得し、翌年にはサヴォイアとニースをフランスに割譲するかわりに中部イタリアを併合した。また、「青年イタリア」出身のが占領したシチリア島・イタリア半島南部を譲り受け、1861年3月にはイタリア王国が成立した。その後、1866年にヴェネツィアを併合、1870年にローマ教皇領を占領し、イタリアの統一が完成した。

ドイツでは、プロイセンの首相ビスマルクがヴィルヘルム1世のもと、軍備の近代化と拡張をはかった。1866年にはプロイセンはオーストリアとの戦争に勝利してドイツ連邦を解体し、翌年にはプロイセン王を盟主とする北ドイツ連邦を組織した。1870～71年のプロイセン＝フランス戦争にも勝利し、1871年1月にはヴィルヘルム1世がドイツ皇帝に即位して、ドイツ統一が完成した。ビスマルクは、さまざまな社会政策を実施して労働者の統合をこころみ、1879年にを制定して国内の工業化の推進をはかった。また、複雑な同盟関係を各国と結び、列強各国の利害の調整に積極的に取り組むなど、ドイツの国際的な力を強めた。

問8 文中の空欄  ～  に入る語句として適当なものを，次の①～④の中からそれぞれ1つずつ選びマークしなさい。  ～

① サルデーニャ

② ジェノヴァ

③ トスカナ

④ ミラノ

① ガリバルディ

② カルロ＝アルベルト

③ パラツキー

④ マツイーニ

① 工場法

② 社会主義者鎮圧法

③ 保護関税法

④ 労働組合法

問9 文中の下線部(6)に関連して，統一後の19世紀後半のイタリアについての説明として間違っているものを，次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

- ① イタリアの強国化をおさえようとするドイツとイタリアとの反目が続いた。
- ② ヴァチカンの教皇庁にこもるローマ教皇とイタリア政府は対立した。
- ③ 工業の発達した北イタリアと貧しい南部の格差は解消されなかった。
- ④ トリエステ・南チロルなどいわゆる「未回収のイタリア」問題が残った。

問10 文中の下線部(7)に関連して，ヴィルヘルム1世が皇帝の位についた場所を，次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

① ヴェルサイユ

② プラハ

③ ベルリン

④ ローマ

Ⅲ インドの歴史について述べた次の文章A～Dを読んで、以下の問いに答えなさい。  
(40点)

A インド亜大陸では、前2300年ころにインダス文明がおこった。インダス川流域には、モエンジョ＝ダーロや  などの遺跡が残され、そこではインダス文字が使われていた。インダス文明は前1800年ころから衰退し、前1500年ころから  が西北インドに、前1000年ころにはガンジス川流域に進出して農耕社会を形成した。 は各種のヴェーダを聖典とするバラモン教や、司祭階層のバラモンを頂点とする身分制のヴァルナ制を形成した。

前6世紀ころには都市国家がいくつも成立し、その中でバラモンの権威を否定する仏教や<sup>(1)</sup>ジャイナ教がうまれた。一方、バラモン教の内部でも改革運動がおこり、 がうまれた。また、バラモン教と民間信仰が融合し、ヴェーダの神々にかわって  やヴィシュヌ神を主神とするヒンドゥー教がめばえた。

問1 文中の空欄  ～  に入る語句として適当なものを、次の①～④の中からそれぞれ1つずつ選びマークしなさい。 ～

- |                                 |             |          |
|---------------------------------|-------------|----------|
| <input type="text" value="31"/> | ① ウル        | ② ウルク    |
|                                 | ③ ハラッパー     | ④ ラガシュ   |
| <input type="text" value="32"/> | ① アラム人      | ② アーリヤ人  |
|                                 | ③ アムル人      | ④ シュメール人 |
| <input type="text" value="33"/> | ① ウパニシャッド哲学 | ② スーフィズム |
|                                 | ③ マヌ法典      | ④ シャリーア  |
| <input type="text" value="34"/> | ① アフラ＝マズダ   | ② アモン神   |
|                                 | ③ シヴァ神      | ④ ゼウス    |



問4 文中の下線部(2)が、王子マヒンダを派遣し仏教を布教したとされる地域を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 38

- ① イラン                      ② スリランカ                      ③ 中国                      ④ ネパール

問5 文中の下線部(3)に関連して、クシャーナ朝期の仏教美術の代表例を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 39

- ① エローラ石窟寺院                      ② ガンダーラ菩薩像  
③ ナーランダー僧院                      ④ ボロブドゥール

問6 文中の下線部(4)に関連して、グプタ朝時代のサンスクリット文学でないものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 40

- ① 『ルバイヤート』                      ② 『シャクンタラー』  
③ 『マハーバーラタ』                      ④ 『ラーマーヤナ』

C 10世紀末からイスラーム勢力は北インドに侵入をくりかえし、1206年にはゴール朝の将軍アイバクがデリーに王朝を開いた。奴隸王朝と呼ばれたこの王朝を含め、その後デリーを本拠にした5つのイスラーム王朝を総称してデリー＝スルタン朝と呼ぶ。

16世紀には、ティムールの子孫バーブルが、デリー＝スルタン朝最後のロディー朝を倒してムガル帝国をたてた。第3代の 41 は中央集権化を進め、帝国の基礎を確立した。第6代のアウラングゼーブ帝の時代に最大領土となったが、42 の出現など各地の勢力が台頭するなか、小国家に衰退していった。文化面では、15～16世紀、イスラーム教とヒンドゥー教の融合した信仰が盛んになり、ナーナクがシク教を開いた。また、細密画が流行し、43 が建築され、ウルドゥー語<sup>(6)</sup>も成立した。<sup>(7)</sup>

問7 文中の空欄  ～  に入る語句として適当なものを，次の①～④の中からそれぞれ1つずつ選びマークしなさい。  ～

- ① アクバル ② シヴァージー  
③ シャー＝ジャハーン ④ ジャハーンギール

- ① ラタナコーシン朝 ② コンバウン朝  
③ ヴィジャヤナガル王国 ④ マラーター王国

- ① アンコール＝ワット ② スレイマン＝モスク  
③ タージ＝マハル ④ ポタラ宮殿

問8 文中の下線部(5)が行ったことを，次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 非イスラーム教徒に対する人頭税（ジズヤ）を廃止した。  
② ヒンドゥー抑圧政策をとり，ヒンドゥー教寺院の破壊を命じた。  
③ マンサブダール制と呼ばれる位階制度をつくった。  
④ ヒンドゥー教徒の女性と結婚し，ヒンドゥー教徒を味方にした。

問9 文中の下線部(6)についての説明として正しいものを，次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 一神教的で，偶像崇拝やカースト制を否定した。  
② ヴァルナ制を否定し，苦から脱却する方法として八正道の実践を説いた。  
③ 禁欲・苦行を説き，不殺生主義をとり，きびしい戒律を重視した。  
④ 善悪二元論に基づいて，火や光への崇拝を重視した。



48

- ① アフガニスタン                      ② ブータン  
③ バングラデシュ                      ④ ミャンマー

問12 文中の下線部(8)に関連して、イギリスは1845年に始まった戦いに勝利したことによりパンジャーブ地方を併合し、全インドの征服をほぼ完成させた。この戦いを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 49

- ① カーナティック戦争                      ② シク戦争  
③ プラッシーの戦い                      ④ マイソール戦争

問13 文中の下線部(9)に関連して、インドとパキスタンの間でその帰属をめぐって紛争がおこっている地域を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

50

- ① カシミール                      ② ベンガル                      ③ シンド                      ④ アッサム